

柏崎刈羽原子力発電所第6号機 設工認 記載適正化箇所（機電設備耐震関連）

NO	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
1	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P全般	資料全体通して、工認に関する用語を統一しました。	2024/1/31	
2	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	目次	本文及び添付資料の修正に合わせタイトル、ページ番号の記載を見直しました。	2024/1/31	
3	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P全般	誤記や表内の不要な改行等について、記載を適正化しました。	2024/1/31	
4	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P4,5	a. の記載のうち、定着部に係る記載と鉛直方向の動的地震力導入に係る記載の間を改行し、記載を分けました。また、引用元の括弧書きの位置について、記載を見直しました。	2024/1/31	改1にて修正済
5	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.5	鉛直方向の動的地震力導入に係る記載のうち、その他主要な評価部位ではないものや、鉛直地震力の影響を受けにくいものについても、検討結果として問題ないことを確認した旨、記載を追記しました。	2024/1/31	改1にて修正済
6	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.7,240～242	地震応答解析結果を引用している設備の整理に関する記載について、先行審査プラントの記載を踏まえ見直しました。	2024/1/31	
7	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.12,199～204,226～228,231	耐震評価上建物・構築物と整理している原子炉本体の基礎及びダイヤフラムフロアについて、組合せ係数法を適用していることから記載を追記しました。	2024/1/31	
8	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.13,237,239	下部ドライエールアクセストネルは柔構造であるものの、既工認で静解析による評価を実施していた理由及び今回設工認ではスペクトルモーダル解析を適用する理由について、記載を拡充しました。	2024/1/31	
9	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P14	2.2.1.2の記載について、前項で抽出した手法の変更点について整理していることが分かるよう、記載を見直しました。	2024/1/31	改1にて修正済
10	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.29	添付-1(8/23)で、原子炉冷却材浄化設備の安全弁及び逃し弁について、Sクラス以外に該当する設備は無いことから、記載を見直しました。	2024/1/31	
11	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.44,52,103,107,136	波及的影響に係る耐震評価を実施する設備について、換気空調系ダクト防護壁の記載を追記しました。	2024/1/31	
12	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.45～P.52	添付-2の表における理由番号について、何の理由番号を示しているか分かるよう、記載を見直しました。	2024/1/31	
13	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.53	添付-2-1について、第1脚側の基礎ボルトのみを評価する理由の記載を追記しました。	2024/1/31	
14	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.54～69	添付-2-2について、コーン状破壊面の有効投影面積算出に係る記載を追記しました。また、ボルト配置が円形である軽油タンクのアンカー定着部評価結果を追記しました。	2024/1/31	
15	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.70,72	添付-2-3の2.にて、建屋機器連成解析関連設備とは、連成解析モデルの応答を耐震評価に用いる設備のことを指す旨記載を追記し、3.2の記載を見直しました。	2024/1/31	
16	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.70	添付-2-3の2.にて、ダクトが剛構造になった理由として振動数基準定ピッチスパン法による設計であることが分かるよう、記載を追記しました。	2024/1/31	
17	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.71,76～78	各建屋以外についても整理していることが分かるよう、記載を見直しました。	2024/1/31	
18	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.73	「許容値を下回る」を「許容値以下である」に、記載を見直しました。	2024/1/31	
19	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.74,79	ECCSポンプ及び原子炉補機冷却海水系ポンプのモータラスト軸受の記載について、記載を見直しました。	2024/1/31	
20	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.76～P.78	検討対象とするフロアに設置する設備を記載していることが分かるよう、表の記載を見直しました。	2024/1/31	

柏崎刈羽原子力発電所第6号機 設工認 記載適正化箇所（機電設備耐震関連）

NO	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
21	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.76～P.78	表全てに凡例を追記しました。	2024/1/31	
22	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.79	たて軸ポンプの鉛直応答解析モデルの記載について、記載を見直しました。	2024/1/31	
23	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.79	括弧書きの内容が指す対象設備が分かるよう、記載を追記しました。	2024/1/31	
24	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.80	燃料集合体について、閉じ込め機能維持の評価に係る記載を追記しました。	2024/1/31	
25	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.83,98,99	添付-3の省略理由等について、記載を見直しをしました。	2024/1/31	
26	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.108	添付4-1(5/5)について、燃料移送ポンプに対する波及的影響に係る耐震評価を実施する設備として、非常用ディーゼル発電設備燃料移送配管防護板の記載は不要であることから記載を削除しました。	2024/1/31	
27	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.109	添付-5について、K7の記載を踏まえ、直流主母線盤及び充電器用分岐盤の耐震安全性評価結果の記載を追記しました。	2024/1/31	
28	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.109	添付-5(1/2)で、表下に注記の記載を追記しました。	2024/1/31	
29	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.130,135	今回設工認ではダイヤフラムフロア、原子炉本体基礎に組合せ係数法を適用しているため、記載を見直しました。	2024/1/31	
30	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.149	添付-6(機器)(39/51)で、制御棒の挿入性評価に係る記載について、記載を見直しました。	2024/1/31	
31	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P177,182,197,198	保温材による付加減衰定数に係る記載について、先行審査プラントの記載を踏まえ、記載を拡充しました。	2024/1/31	
32	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.183	同じ沸騰水型原子炉であることを示す記載に見直しました。	2024/1/31	
33	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.186,188	原子炉建屋クレーン、燃料取替機について、改造による変更を踏まえた仕様に見直しました。	2024/1/31	
34	KK6補足-024-2改2	耐震評価対象の網羅性、既工認との手法の相違点の整理について	P.202～204	「g」の記載を見直しました。	2024/1/31	
35	KK6補足-028-10-34改1	機器・配管系の設備の既工認からの構造変更について	目次	目次を追加しました。	2024/1/31	
36	KK6補足-028-10-34改1	機器・配管系の設備の既工認からの構造変更について	P.1	既工認で耐震計算書作成対象外であった機器のうち、今回設工認で新たに耐震計算書を作成し、既工認から構造変更があった機器を追加しました。	2024/1/31	
37	KK6補足-028-10-34改1	機器・配管系の設備の既工認からの構造変更について	P.1～9	表及び記載の全般を、先行審査プラントの記載を踏まえ適正化しました。	2024/1/31	
38	KK6補足-028-10-34改1	機器・配管系の設備の既工認からの構造変更について	P.2～6,8	備考欄に参照先を追記しました。	2024/1/31	
39	KK6補足-028-10-34改1	機器・配管系の設備の既工認からの構造変更について	P.5,6	図中の寸法Lについての説明を追記しました。	2024/1/31	
40	KK6補足-028-1-1改2	設計用床応答曲線の作成方法及び適用方法について	P.7	文章の適正化を行い、設計用床応答曲線ⅠがⅡを上回った際の扱いをフロー図として追記しました。	2024/1/31	
41	KK6補足-028-1-1改2	設計用床応答曲線の作成方法及び適用方法について	P.9	文節を分け、また文章の適正化を行いました。	2024/1/31	
42	KK6補足-028-1-1改2	設計用床応答曲線の作成方法及び適用方法について	P.9	表2の分類等の欄に「他の耐震計算書に結果を記載しているため対象外」と記載のある計算書の説明を記載しました。	2024/1/31	

柏崎刈羽原子力発電所第6号機 設工認 記載適正化箇所（機電設備耐震関連）

NO	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
43	KK6補足-028-1-2改2	機器・配管系の耐震設計における剛柔判断を行う固有周期について	P.29	発生応力の増加分の影響について記載を見直しました。	2024/1/31	
44	KK6添-2-011改1	VI-2-1-11 機器・配管の耐震支持設計方針	P.7, 8, 16, 24	図中の部位名称を追記しました。	2024/1/31	
45	KK6添-2-011改1	VI-2-1-11 機器・配管の耐震支持設計方針	P.20	注記の拡充をしました。加振試験を実施しない根拠の追記及び判定基準の明確化しました。	2024/1/31	
46	KK6添-2-011(比較表)改1	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-11 機器・配管の耐震支持設計方針)	P.8, 9, 15, 21	図中の部位名称を追記しました。	2024/1/31	
47	KK6添-2-011(比較表)改1	先行審査プラントの記載との比較表(VI-2-1-11 機器・配管の耐震支持設計方針)	P.18	注記の拡充をしました。加振試験を実施しない根拠の追記及び判定基準の明確化しました。	2024/1/31	
48	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	112, 113/151	固有モード図はエルボの描写が省略されていることが分かるように注記を追記し、モデル概要図と紐づけしました。	2024/1/31	
49	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	15/151	VI-2-1-2「基準地震動Ss及び弾性設計用地震動Sdの策定概要」に基づき、基準地震動 Ss-1～8で算出している旨を注記で追記しました。	2024/1/31	
50	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	3, 4, 6/151	資料上でJEA64601の年度の記載がない箇所について、年度まで含めた記載に修正しました。	2024/1/31	
51	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	6, 143～151/151	資料を通して、規格の図を引用している箇所について、図を鮮明化しました。	2024/1/31	
52	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	8, 16, 139/151	資料上でJSMEの年度の記載がない箇所について、年度まで含めた記載に修正しました。	2024/1/31	
53	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	7, 12, 13, 138/151	引用文献「昭和55年度 耐震設計の標準化に関する調査報告書」の出典を追記しました。	2024/1/31	
54	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	17/151	フロー中の文字のサイズを修正しました。	2024/1/31	
55	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	18, 19, 21/151	大型機器系と炉内構造物に標高の部位を追記しました。	2024/1/31	
56	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	15, 18, 19, 51, 53, 55, 73, 82, 93, 94/151	タービン建屋T.M.S.L.30.9m(一律に設定する等価繰返し回数の適用外)に係る記載について、一律に設定する算出パラメータの設定の考え方の対象床面の箇所で、タービン建屋T.M.S.L.30.9m以上の床面が適用外である旨追記し、資料上一貫してT.M.S.L.30.9m以上を対象外としました。上記変更に伴い、タービン建屋の等価繰返し回数の最大回数の表および算出結果の一覧表を適正化しました。	2024/1/31	
57	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	34～36, 43～47/151	大型機器系と炉内構造物系の時刻歴フローについて、Ss-3を代表している旨、注記等を追記しました。	2024/1/31	
58	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	58, 60, 62, 64, 66, 68, 84/151	廃棄物処理建屋とコントロール建屋の等価繰返し回数の一覧表について、K7の転載であることがわかるようにしました。	2024/1/31	
59	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	38, 40, 42, 79/151	原子炉格納容器ドライウェル上鏡の記載を適正化しました。	2024/1/31	
60	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	101, 102/151	水平2方向の考慮に関する説明をK7同様に拡充しました。	2024/1/31	
61	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	126, 127/151	減衰定数を床応答スペクトルの図中に記載しました。	2024/1/31	
62	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	100/151	解析コード「HERO」「PLTCOM2」がK7で実績がある旨追記しました。	2024/1/31	
63	KK6補足-028-3 改1	耐震評価における等価繰返し回数について	89, 92/151	大型機器系の地震応答解析の鉛直方向モデルの「地盤ばね」の説明を追記しました。炉内構造物系の地震応答解析の鉛直方向モデルの「地盤ばね」の説明を追記、「原子炉圧力容器」の説明の位置変更しました。	2024/1/31	
64	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	3	3のうち、「20Hzを超えた範囲を最大加速度とした場合」「30Hzまで作成した…」の記載を適正化し、「50Hzまで計算した…」としました。	2024/1/31	

柏崎刈羽原子力発電所第6号機 設工認 記載適正化箇所（機電設備耐震関連）

NO	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
65	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	6～16, 22, 25, 48, 63, 64	図書内の弁の評価結果を適正化しました。	2024/1/31	
66	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	26～39	振動モード図を大きくしました。 18次モードの弁近傍の拡大図を追加しました。	2024/1/31	
67	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	62	添付4「弁の動的機能維持評価における有意な応答増加に関する補足説明」の「P41-F002A」に係る記載を適正化しました。	2024/1/31	
68	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	65	弁の評価に用いる床応答曲線の使用内訳の表に「原子炉遮蔽壁」を追記しました。	2024/1/31	
69	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	3, 4, 21, 42, 45, 48, 49, 65	弁の評価に用いる床応答曲線の作成方法について、解析で作成しているものを「計算」と使い分けるよう適正化しました。	2024/1/31	
70	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	5	「打ち切り振動数」を注記で定義しました。	2024/1/31	
71	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	19,20	代表弁「B21-F001J」と「T22-F004A」の配管モデルの全体図を追加しました。	2024/1/31	
72	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	19,20	代表弁「B21-F001J」と「T22-F004A」について、配管モデル上の弁の図示位置を適正化しました。	2024/1/31	
73	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	22,41	「5. 応答加速度増加の要因推定」の記載内容と図5(2)が整合するように適正化しました。	2024/1/31	
74	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	22	「4. 解析結果」の記載が2つ弁の説明していることがわかるように適正化しました。	2024/1/31	
75	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	42	「1.はじめに」の記載内容が後段の説明と整合が取れるように適正化しました。	2024/1/31	
76	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	49	添付2「5. 応答加速度増加の要因推定」について、添付1「5. 応答加速度増加の要因推定」と同様である旨記載し、適正化しました。	2024/1/31	
77	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	49	「表2 弁の動的機能維持評価に用いる床応答曲線の使用分類」に床応答曲線の図を追加し、視覚的にわかるように適正化しました。	2024/1/31	
78	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	4	「表1 弁の動的機能維持評価に用いる評価条件」について、「床応答曲線の作成方法」と「スペクトルモーダル解析で考慮する振動数領域」に分けて作成方法と解析方法がわかるように適正化しました。	2024/1/31	
79	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	62	「3. 弁の動的機能維持評価における高振動領域の影響」の記載を省略しました。	2024/1/31	
80	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	4	「4. 高振動数領域を考慮した弁の動的機能維持評価結果」に打ち切り振動数100Hzの解析をしていない旨追記しました。	2024/1/31	
81	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	1	「弁駆動部」の記載を適正化しました。	2024/1/31	
82	KK6補足-028-5 改1	弁の動的機能維持評価について	目次, 70	電気計装設備の動的・電氣的機能維持評価について、参考資料として追加しました。	2024/1/31	
83	KK6補足-028-10-43 改1	重大事故等対処設備の動的機能維持要求の整理について	目次	目次を追加しました。	2024/1/31	
84	KK6補足-028-10-43 改1	重大事故等対処設備の動的機能維持要求の整理について	1	「事象発生後長期間」の記載を「事象発生後長期」に適正化しました。	2024/1/31	
85	KK6補足-028-10-43 改1	重大事故等対処設備の動的機能維持要求の整理について	1	先行プラントの記載を踏まえて、【C】の説明に係る記載の拡充しました。	2024/1/31	